

4月21日のウクライナ情報

安齋育郎

①ロシアが復活祭で軍事行動を停止 ウクライナに同調求める(共同通信、2025 年 4 月 19 日)

【モスクワ共同】ロシアのプーチン大統領は 19 日、ロシア軍のゲラシモフ参謀総長と会談し、20 日の復活祭(イースター)に合わせてモスクワ時間の 19 日午後 6 時(日本時間 20 日午前 0 時)から 21 日午前 0 時(同午前 6 時)までの 30 時間、ウクライナに対する全ての軍事行動を停止するよう命じた。ウクライナにも同調するよう求めた。

ロシア国防省によると、プーチン氏が一方的に発表した今回の「復活祭停戦」は、ウクライナ側も応じることが停戦順守の条件。プーチン氏は「ウクライナ側の反応は、和平交渉をどれほど望み、参加する意思があるかどうかを示すことになる」と語った。

プーチン氏は 3 月に合意したエネルギー施設に対する攻撃停止を巡っては、ウクライナ側から 100 回以上の違反があったと指摘し、ウクライナ側からの挑発的な行動に備えるよう命じた。現在の戦況について「ロシア軍は一步一步前進している」と自信を示した。

プーチン氏は 2023 年 1 月にロシア正教のクリスマスに合わせた停戦命令を出したことがある。

<https://news.yahoo.co.jp/pickup/6536043>

②ウクライナ、米との鉱物協定協議で大きな進展 覚書署名へ＝高官(ロイター、2025 年 4 月 17 日)

キーウ 16 日 ロイター] - ウクライナのスピリデンコ第 1 副首相は 16 日、米国との鉱物資源に関する協議で「大きな進展」が見られ、近い将来に覚書に署名することで合意したと明らかにした。

X への投稿で「実務チームが緊密に協力して合意に向けて作業を進めた結果、大きな進展があった。法務担当者が合意案の一部の項目について調整を行った」と説明した。

双方は合意に向けた作業を継続し、協議の進展を示す第 1 歩として近く覚書に署名することで一致したと述べた。

カチカ経済副大臣は国営テレビに対し、協議が進展しており、覚書が間もなく署名される可能性があると言った。

「最終文書が今週署名されることはない。合意に盛り込まれた米国側の構想をさらに発展させる必要があるため、課題は多い」と述べた。

トランプ米大統領は、ロシアとウクライナの和平交渉の一環として、ウクライナとの鉱物資源取引を求めている。ブルームバーグは関係筋の情報として、米政府が 2022 年のロシアによる侵攻以来、ウクライナに提供した支援総額の見積もりを 3000 億ドルから約 1000 億ドルに引き下げたと報じた。

スピリデンコ氏は、米国との協定はウクライナ議会での批准が必要と指摘した。「協定によってウクライナへの投資と発展の機会が創出され、ウクライナと米国双方にとって実質的な経済成長に向けた条件が整う」と述べた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9565db19e2734a813cdfabb8377cbd9435a651a2/images/000>

③焦点:ウクライナからロシアへの子ども連れ去り、トランプ政権が責任追及阻む (Max Hunder、2025 年 3 月 30 日)

【ヘルソン(ウクライナ) 27日 ロイター】 - ウクライナからロシアに連れ去られた子どもらに関する米イエール大学の調査プロジェクトに対し、トランプ米大統領が資金拠出を停止したことを知ったボロディミール・サハイダクさんは、誘拐犯が果たして公正な裁きを受ける日は来るのだろうかとの疑問に思った。

ロシアがウクライナ侵攻を開始した2022年2月、サハイダクさんはウクライナ南部ヘルソンで児童養護施設を運営し、50人余りの子どもを預かっていた。

侵攻直後、子どもらがロシア側に連れ去られないよう、すぐに親族や職員の元へ「分散疎開」させたが、市内の学校に登校していた数人がロシアの占領地に送られてしまった。

「何十人もが取り組んできた全ての作業を、たった1人(トランプ氏)が台無しにできることが腹立たしい。(子ども連れ去りは)刑事的な責任を問う必要があるが、米国は私たちに異なる景色を見せようとしている」。サハイダクさんは今週、ヘルソンでロイターに語った。

ロシアの犠牲になった民間人や声を届けられない子どもらのために正義を追求するプログラムに、米国からの重要な支援が止まったことについては、サハイダクさんを含め多くのウクライナ人が怒りを感じている。



<https://jp.reuters.com/world/ukraine/6MX7V6ABKBNVHJCI44CQJV5UGI-2025-03-29/?rpc=122>

④ 復活祭の一時停戦に関するプーチン大統領の声明 要旨(2025年4月20日)

復活祭(イースター)に合わせた一時停戦はモスクワ時間 19 日午後 6 時(日本時間 20 日午前 0 時)に始まり 20 日 24 時(21 日午前 6 時)まで続く。

・この期間はすべての戦闘行為を停止しなければならないが、ロシア軍は停戦違反や敵からの挑発行為に対処する準備を整えておく必要がある。

・今回の一時的な停戦は、問題を平和的に解決する意欲と能力がキエフ政権にあるかをどうかを示すものとなるだろう。

・ウクライナはエネルギー施設に対する攻撃の一時停止に 100 回以上違反した。

・プーチン大統領はロシア軍のゲラシモフ参謀総長に対し、露クルスク州の領土から敵が完全に排除されたら改めて報告するよう指示した。

<https://twitter.com/i/status/1913635302381650413>



<https://sputniknews.jp/20250420/19797377.html>

〈関連情報〉宇は復活祭の一時停戦に違反する可能性がある＝セルビアの政治家(2025年4月20日)

ロシアが発表した復活祭(イースター)に合わせた一時停戦はロシア側からの良い一歩だが、ウクライナは他の合意と同様に違反する可能性がある。「セルビア急進党」の創始者ヴォイスラヴ・シェシエリ氏がスプートニクに語った。

「ウクライナ側はいかなる合意も堅持せず、西側勢力の手中にある道具となっており、ウクライナ人の命やウクライナの土地がどうなるかを気にかけていない」

シェシエリ氏はまた、ウクライナ紛争は特別軍事作戦が完了したときに成功裏に終結する可能性があるとの見方を示した。

プーチン大統領は19日、復活祭に合わせた一時停戦を発表した。期間はモスクワ時間19日午後6時(日本時間20日午前0時)から21日午前0時(同午前6時)まで。プーチン大統領は、ウクライナもロシアの例に倣うと考えていると述べた。一方、ロシア軍は停戦違反や敵からの挑発行為に対処する準備を整えておく必要があると指摘した。



<https://sputniknews.jp/20250420/19798409.html>

⑤露クルスク州の領土 99.5%が解放された＝露軍参謀総長(2025年4月19日)

ロシア軍の全 6 部隊が 11 方面で進撃している。ロシア軍の格拉シモフ参謀総長がプーチン大統領に報告した。

主な発言

- ・クルスク州のゴルナル及びオレシュニャではウクライナ軍の残党を掃討する作戦が続けられている。

- ・露ベルゴロド州に侵入しようとするウクライナ軍の試みは阻止された。

- ・プーチン大統領は格拉シモフ参謀総長に対し、クルスク州の領土から敵が完全に排除されたら改めて報告するよう指示した。

- ・ロシア軍は 3 月初旬、ウクライナ軍が越境攻撃を行う西部クルスク州で大規模な攻勢を開始し、数日間で 1100 平方キロメートル以上の領土を解放した。ウクライナ軍によるクルスク州への侵攻後、ロシア軍は計 64 集落を解放した。

- ・クルスク方面での戦闘で、ウクライナ軍は合わせて 7 万 5170 人以上の兵士、戦車 411 両、装甲戦闘車両 2280 台を失った。



https://sputniknews.jp/20250419/995-19796928.html?rcmd_alg=collaboration2

⑥米国は宇への軍事支援ではなく和平に期待(2025 年 4 月 19 日)

トランプ米大統領はウクライナへの軍事支援を巡り、停止する可能性を否定しなかったが、和平合意の成立は可能だと信じていると強調した。

トランプ氏はまた、いずれかの当事者が「妨害を始めた」場合、米国はウクライナに関する交渉プロセスから撤退するとした。

<https://twitter.com/i/status/1913309333842014346>



https://sputniknews.jp/20250419/19792773.html?rcmd_alg=collaboration2

⑦ ロ西部州でウクライナ軍の制圧集落残り 1 に(KYODO,2025年4月19日)

【モスクワ共同】ロシア国防省は 19 日、昨年 8 月からウクライナ軍の越境攻撃を受ける西部クルスク州で 1 集落を奪還したと発表した。ロシア治安当局者によると、ウクライナ側が実効支配するのは残り 1 集落となった。タス通信が報じた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3d2ee36381d586f42d32b1968fba3ecc5481be73>

⑧ トランプ氏はウクライナ・ロシア交渉から撤退すると警告！(2025年4月19日)

ゼレンスキー氏がトランプ氏の言うことに従うか、プーチン氏に殺されるかだ。至って単純だ。米国からの資金、武器、情報、弾薬などがなければ、ウクライナは急速に崩壊するだろう。

トランプ氏は状況解決は可能だと明言しているが、交渉から撤退する覚悟が必要だと何度も述べており、それが彼に更なる影響力を与えている。

トランプ氏は主導権を握っており、ゼレンスキー氏が屈服するまで圧力をかけ続けるだろう。もしゼレンスキー氏が屈服を望まなければ、プーチン氏は武力で彼を拘束するだろう。

私が何度も言ってきたように、ゼレンスキー氏は死にゆく男だ。彼が逃げ出すシナリオなどあり得ない。

<https://x.com/i/status/1913348570155302998>



<https://x.com/10092002r/status/1913348570155302998?s=09>

⑨ ゼレンスキーは民主主義を(再び)打ち消した - 選挙はなく、戒厳令が敷かれるだけだ (Drew Berquist, Redacted, 2025 年 4 月 20 日)

<https://youtu.be/lqYcMO6v7Kc>

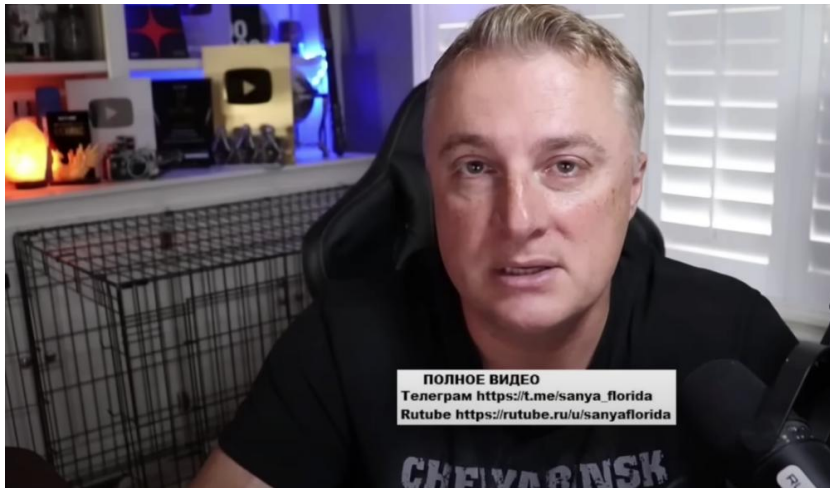


<https://www.youtube.com/watch?v=lqYcMO6v7Kc>

⑩【戦況】占領が止まらない～4/20 日曜版です🤖!!(ニキータ伝～ロシアの手ほどき、2025 年 4 月 20 日)

※安斎注：ロシア有利の戦況の下では、クルルクを全部解放し、東部 4 州を把握するまではロシアは戦闘を続ける気がします。

<https://youtu.be/SfIMSI56MP8>



ПОЛНОЕ ВИДЕО
Telegram https://t.me/sanya_florida
Rutube <https://rutube.ru/u/sanyaflorida>

<https://www.youtube.com/watch?v=SfIMSI56MP8>